

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:消防団姿川分団第5部改築工事				
補助事業者名	宇都宮市長				
実施場所	宇都宮市下砥上町754番地2				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、宇都宮市消防団の姿川分団第5部詰所を改築するものである。宇都宮市の消防団は全26分団で構成されており、地域の災害対応に重要な役割を果たしている。</p> <p>上記、姿川分団第5部における詰所は、建築後40年以上経過しており、老朽化が進み一部コンクリートのひび割れも確認される。また新建築基準法が施行された昭和56年以前の建築であることから耐震性も確保されていない。地域住民の安全を守るためには、災害が発生した際も機能を維持できる詰所の整備が必要であることから、詰所の改築工事を行い、耐震性を向上させるとともに出動の際に円滑に職務に従事できるよう改善し、消防力の向上を図る。</p> <p>【参考指標】平成26年度の出動回数:80回</p>				
補助事業の内容	S造 2階建て 延床面積66.64㎡				
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成28年度				
事業費及び交付金額		27年度	28年度		計
	事業費	0	28,138,320		円 28,138,320
	交付金額	0	25,735,000		円 25,735,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 消防団員に対して聴き取り調査を行ったところ、「ホース乾場にリフターが取り付けられ、作業効率が上がり大変便利である」「今まで活動するには狭かった待機スペースが広くなった」等の好評を得たことから、地域住民の安全と安心を守る消防団の活動拠点として万全の体制を整えることができたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①詰所扉に「平成27年度防衛省の調整交付金を活用して整備しました」と記載 ②市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

消防団姿川分団第5部詰所完成写真



事業評価書

補助事業名	教育文化施設:姿川中学校北校舎便所等改修工事				
補助事業者名	宇都宮市長				
実施場所	宇都宮市西川田町1038番地				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、姿川中学校北校舎1階及び2階便所を和式から洋式に改修し、あわせて北校舎全体にかかる給水管を更新するものである。</p> <p>姿川中学校は、昭和50年度に建築され、便所については平成25年度から順次改修しているものの、現在でも4割以上が建築当時の和式のままとなっている。また、給水管については建築当時のままで経年による老朽化が著しく、早急な更新が必要な状況である。</p> <p>生活スタイルの変化で、慣れない和式で用を足せない生徒が増加し、保護者や教職員からも洋式にして欲しいとの声が多いため、また、給水管の劣化による漏水等を未然に防ぎ安定的に水を供給するため、本事業の実施により、教育環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 姿川中学校におけるトイレ洋式化率 : 59.5% 市内全中学校におけるトイレ洋式化率 : 33.6% (平成27年3月31日現在)</p>				
補助事業の内容	便所等改修工事 和風便器から洋風便器への更新20基 等				
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成28年度				
事業費及び交付金額		27年度	28年度		計
	事業費	円 7,484,400	円 29,112,480		円 36,596,880
	交付金額	円 7,480,000	円 22,000,000		円 29,480,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 10月に便所改修工事が完了し供用開始後、教職員や生徒等に対して聞き取り調査を行ったところ、「洋式化したことで使いやすさが向上し、また綺麗になって雰囲気が明るくなったため、使い心地がよくなった」「洋式化したことで使用する際の抵抗が少なくなり、使いやすくなった。また工事で綺麗になったことで、児童も綺麗に使うよう意識が変わった」等の好評を得たことから、安全性・快適性が確保され、教育環境が向上した考える。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ①工事期間中に、防衛交付金事業である旨の看板を設置した。 ②「学校だより」及び市ホームページに交付金を活用した事業である旨を掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

姿川中学校北校舎便所等改修工事完成写真

着 手 前



写真区分：着手前
写真タイトル：着工前便器

完 成



写真区分：完成写真
写真タイトル：完成後便器

事業評価書

補助事業名	教育文化施設:宮の原小学校北校舎外壁改修工事				
補助事業者名	宇都宮市長				
実施場所	宇都宮市宮の原4丁目1番14号				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、宮の原小学校北校舎への雨水浸入を防ぐため、校舎北面の外壁を改修するものである。</p> <p>宮の原小学校北校舎は、昭和39年の建築後、既に50年以上経過しており、平成22年度に校舎の耐震化は図られたものの、北校舎北面の外壁に散見するひび割れ等から雨水が浸入し外壁に面した廊下等が頻繁に水浸しとなることから、早急な改修が必要な状況である。</p> <p>この水浸しによって生じる転倒等の怪我を未然に防ぐためにも、本事業の実施により、教育環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 宮の原小学校児童数 : 356名 (平成28年5月1日現在)</p>				
補助事業の内容	外壁改修工事 一式				
補助事業の始期及び終期	平成28年度				
事業費及び交付金額		28年度			計
	事業費	円 11,791,440	円		円 11,791,440
	交付金額	円 8,000,000	円		円 8,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>北校舎北面のひび割れは補修したが、雨水の浸入等に対する補修については、梅雨時期などの状況を確認した上で、補助事業の成果を評価する必要がある。</p> <p>このことを踏まえ、工事完了以降の雨天時の状況を定期的に継続して確認してきたところ、雨水の浸入がなくなったことを確認している。また、校長等へのヒアリングにおいては、廊下等への雨水の浸入がなくなったことにより、教育環境が向上し児童等にも好評を得ているとのことであり、以上の点から事業目標を達成したと評価できる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <p>①工事期間中に、防衛交付金事業である旨の看板を設置 ②「学校だより」及び市ホームページに交付金を活用した事業である旨を掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

宮の原小学校北校舎外壁改修工事完成写真

着 手 前



完 成



事業評価書

補助事業名	教育文化施設:姿川第二小学校東校舎便所改修工事				
補助事業者名	宇都宮市長				
実施場所	宇都宮市西川田町1038番地				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、姿川第二小学校東校舎の1階から4階までの便所を和式から洋式に改修するものである。</p> <p>姿川第二小学校は、昭和55年度に建築され、便所については7割以上が建築当時の和式のままとなっている。</p> <p>生活スタイルの変化で、慣れない和式で用を足せない児童が増加し、保護者や教職員からも洋式にして欲しいとの声が多いため、本事業の実施により、教育環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 姿川第二小学校のトイレ洋式化率 : 23.8% 市内全小学校のトイレ洋式化率 : 38.8% (平成28年3月31日現在)</p>				
補助事業の内容	便所等改修工事 和式便器から様式便器への更新48基				
補助事業の始期及び終期	平成28年度				
事業費及び交付金額		28年度			計
	事業費	29,463,480 円		円	29,463,480 円
	交付金額	18,165,000 円		円	18,165,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>3月に便所改修工事が完了し供用開始後、教職員や生徒等に対して聞き取り調査を行ったところ、「洋式化したことで使いやすさが向上し、また綺麗になって雰囲気が明るくなったため、使い心地がよくなった」「洋式化したことで使用する際の抵抗が少なくなり、使いやすくなった。また工事で綺麗になったことで、児童も綺麗に使うよう意識が変わった」等の好評を得たことから、安全性・快適性が確保され、教育環境が向上したと判断できる。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>①工事期間中に、防衛交付金事業である旨の看板を設置 ②「学校だより」及び市ホームページに交付金を活用した事業である旨を掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

姿川第二小学校東校舎便所改修工事完成写真

着 手 前



写真区分：着手前
写真タイトル：着工前便器

完 成



写真区分：完成写真
写真タイトル：完成後便器